

感染症情報 8月7日～20日

8月7日から13日分

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①手足口病	732例(堺市	47例)
②感染性胃腸炎	527例(堺市	25例)
③RSウイルス感染症	347例(堺市	10例)
④ヘルパンギーナ	240例(堺市	12例)
⑤溶連菌感染症	183例(堺市	13例)

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	16例(堺市	1例)
---------	--------	-----

8月14日から20日分

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	540例(堺市	37例)
②RSウイルス感染症	495例(堺市	34例)
③手足口病	493例(堺市	36例)
④溶連菌感染症	189例(堺市	18例)
⑤ヘルパンギーナ	164例(堺市	8例)

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	28例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。山の日やお盆で報告定点の診療実日数が少なく、通常週との比較はできない。

感染症報告数は8月7日から13日までがその前週より37.1%減の2,262件で、8月14日から20日までがさらに3.4%減の2,184件であった。手足口病は下火になりつつある。RSウイルス感染症がさらに増えてきている。8月14日から20日でRSウイルス感染症は定点当たり2.5となった。ヘルパンギーナは府下・堺市ともに減少となっている。

インフルエンザは府下では8月7日から13日が16例で、14日から20日で28例が報告された。

8月14日から20日の間に麻疹、風疹の報告はなかった。